

なぐなった」という言葉があるように体の中でも首は最もよく動く部分のひとつだ。必然的に痛みも多い。

東京医科大学の四宮謙一教授（整形外科）は「症状や生活パターンをよく見る必要があるが、手などにしびれのある場合は将来を考えると早めに手術をした方がよい」と言う。

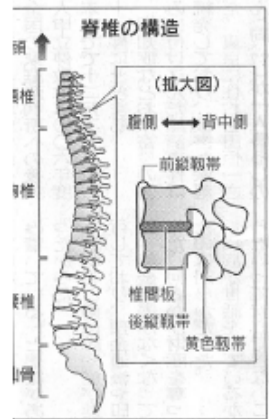
「首の痛みにはいろいろ種類があります。多いのは頸椎（けいつい、首の骨）にかかわるものです。

「私たちの体を支えている脊柱（せきちゅう）は、頭の側から頸椎（七個）は、体骨で構成、胸椎（十二個）、腰椎（五個）、仙骨に分けられます。椎体骨の間には椎間板（ついかんぱん）があって、椎体骨同士をくっつけ、クッションの役割をしています」

「頸椎の椎間板や椎体骨は加齢とともに変性・変形し、脊柱内を通過している神経を圧迫します。頸椎は胸椎、腰椎に比べて大きく動く

病を知る

痛み③ 頸椎症



転倒などで悪化に注意

手や足にまでしびれやマヒも

まぐ使えない、うまく字が書けないなどの症状が表れます。重度になると足にも症状が表れ、歩行や排尿が困難になることもありま

「どのような治療をしますか。」

「椎間板や背骨の関節な

「神経根が押されて手の指にしびれが出てくる神経容室で髪を洗う時に反り返って首の麻痺が強くなった」という例もあります。痛いからと整体に行くことはや過を見るようにしていま

「聞き手は編集委員



東京医科大学教授 四宮 謙一氏

形するのも早いと考えられるスポーツや、重いもの

「首の痛みをもたらす

「首の痛みをもちたらず

「首の痛みをもちたらず

「首の痛みをもちたらず

骨化症でも痛み

「首の痛みやしびれをもちたらずのものとしては頸椎症のほかに靱帯（じんたい）骨化症がある。靱帯は脊柱を縦走し椎体骨をつないでいる組織で、前縦（腹側）を走っている前縦靱帯と後縦（背脊中側）を走っている後縦靱帯、それに黄色靱帯が

「首の痛みやしびれをもちたらずのものとしては頸椎症のほかに靱帯（じんたい）骨化症がある。靱帯は脊柱を縦走し椎体骨をつないでいる組織で、前縦（腹側）を走っている前縦靱帯と後縦（背脊中側）を走っている後縦靱帯、それに黄色靱帯が

日本経済新聞
2008年3月25日(火)

四宮教授